

OASIS HEART

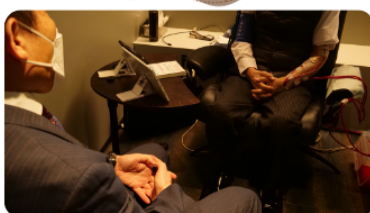
あなたの心地よい透析LIFEを創るニュースレター

透析医療

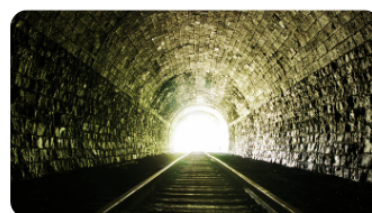
選択の科学



透析患者のリアルな生活のリアルインタビュー
WAKE UP!
REAL VOICE
Vol.03 前編



LIFE JOURNEY



もう、過去には戻らない!!

支配的価値観からの解放は未だ「非凡なこと」とされていますが、私たちは「セルフ透析」があるべき透析医療の重要かつ不可欠なひとつと考える「世界観」を持って、その確立に取り組んでいます。(OASIS MEDICAL COO 櫻堂 渉)

伝統的な透析治療の世界は、その歴史の中で厳格な規制と画一的な治療プログラムに縛られてきました。患者は医療施設の厳しいスケジュールに従い、生活の多くを犠牲にしなければなりません。残念なことに、この状態は現在の標準的な医療として引き継がれてきてしま...

衝撃の診断を乗り越え自身のパフォーマンス向上を意識

セルフ透析センターでの透析中はほとんどの時間をご自身で経営する会社の仕事に費やしている小野さん。透析を開始した当初の衝撃的な心境から、現在の「透析は苦ではない」とおっしゃる意識に変わるまでの状況についてお話しいただきました。櫻堂：透析をどのように受け入れていかれたのですか？

小野：私の場合は、これまでが仕事づくめだったからかもしれませんが、透析を始めた当初は透析時間中にゆっくりできるという気持ちに切り替えました。たまに仕事のメールのやり取りをしていましたが、SDCに来る前は電話ができる環...

引越しのススメ

-国境のトンネルはタイムマシン-

「国境（くにざかい）の長いトンネルを抜けると雪国であった。」——これは日本人初のノーベル文学賞受賞者となった川端康成の代表作『雪国』のあまりにも有名な出だしである。筆者は『雪国』は未読でこの冒頭の一文しか知らない。しかし、この一文だけで様々なイメージが沸き起こる名文だと思う。雪国育ちの人にとって、トンネルも雪国も閉ざされた同じイメージの世界かもしれないし、雪国をスキー、温泉、登山などレジャーの地としている人にとっては、閉塞感のある日常から解放してくれる、全く異なる世界が目の前に広がるような感覚であ...



たくさん透析しておいしい食事を楽しもう！
COOK BOOK レシピコーナーもあります

